

## 第6学年 国語科学習指導案

日 時 平成17年9月5日(月)5校時

児 童 6年3組 男18名 女20名 計38名

指導者 盛岡市立城北小学校 川 村 啓 子

1. 単元名 筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう  
教材名 「平和のとりでを築く」(大牟田 稔)

### 2. 教材の指導にあたって

#### (1) 教材について

本教材は、「筆者が訴えたいことを読み取り、それについて自分の考えをもつこと」をねらいとした教材である。

教材「平和のとりでを築く」は、戦争で広島に原子爆弾が投下され、傷だらけになった原爆ドームが、多くの人々の平和を願う心によって世界遺産となった経緯を述べた説明文である。本教材は、「話題提示 - 説明 - まとめ」という大きく3つのまとまりで構成されている。「話題提示」では、原爆ドームの存在と筆者の思いを紹介し、「説明」では、「日本の遺産として原爆ドームがたどってきた歴史」と「世界遺産となった原爆ドーム」の2つに分けて説明している。「まとめ」では、原爆ドームが世界の人々にとって平和を訴える大切な遺産であることが述べられ、最後に、原爆ドームを大切にすることによって平和を願う筆者の強い思いの文で締めくくられている。文章は簡潔で分かりやすく、史実も編年体で説明されていて、文と文・段落と段落の関係も比較的とらえやすい作品である。

原爆ドームの話題から世界の平和を強く願う筆者の思いが、題名やまとめに凝縮されているこの説明文は、未来を担う一員である6年生の子どもたちに、世界に目を向けさせ、「平和」について自分なりに考えさせることができる作品であると考えられる。

#### (2) 児童の実態について

子どもたちは、6年生になってからこれまでに、「生き物はつながりの中に」で、文章に即して段落ごとに要点をとらえたり、重要語句を見つけ、中心文を並び替えたりしながら説明文全体の文章構成を読み取る学習をしてきた。また、筆者の考えを読み取り、読者に対する問いかけの文から自分はどうかといった自分の考えをもつ学習もしてきている。これらの学習を通して、子どもたちは、重要語句や中心文から説明文全体の構成の特徴を読み取ったり、事象と意見を区別しながら筆者の伝えたいことは何なのかを自分なりに考えたりすることができるようになってきている。しかし、個々の読みには差があり、説明文全体を要約したり、筆者の訴えに対して自分はどうか考えるのかを自分なりにまとめて書いたりすることのできる児童は少ない。

段落ごとに細かく読み取るだけでなく、事象と意見を区別し、文章全体や文章構成を意識しながら筆者が訴えたいことを読み取り、自分なりに意見をまとめることができるようにしていきたい。

#### (3) 指導にあたって

本教材では、筆者が訴えたいことを読み取り、それについて自分の考えをもつことをねらいとし、次のように学習を進めていきたい。

筆者の意見を読み取るために、重要語句や文末表現に着目しながら筆者の考えと事実とを区別し、どのような事実をふまえてどのように筆者の意見が述べられているかを叙述に即して正確に読み取り、「話題提示 - 説明 - まとめ」という文章構成をつかむことができるようにする。(文章構成 筆者の意見)

常に作品全体を意識した読み方で筆者の意見を読み取るために、「原爆ドーム」の表現の違いや保存を願う人々の広がりに着目しながら、「原爆ドーム」が世界遺産に指定されるまでの過程を理解し、「原爆ドーム」について筆者がどのように考えているかを読み取るができるようにする。(内容 筆者の意見)

筆者が読者に訴えていることを読み取り、それについて自分なりに考えをまとめるために、文章構成や全体の内容、重要語句、題名などを関連づけながら筆者の訴えを読み取り、それについて自分なりの考えをまとめるようにする。また、筆者が読者に訴えていることについて、自分はどうか考えるかを自分なりにまとめ、互いに交流することで、「平和」に対する自分の考えを発信する活動へとつなげていくことができるようにする。

3. 教材の指導目標

書かれている事象や筆者の意見・感想に対して自分の考えを明確にしようとしている。  
 (関心・意欲・態度)  
 書かれている内容について事象と感想、意見の関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読むことができる。  
 (読むこと エ)  
 文や文章にはいろいろな構成があることについて理解することができる。 (言語事項 オ(ア))

4. 教材の評価規準 ( B )

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解
「原爆ドーム」が世界遺産に指定される過程や筆者の「平和」への訴えに対して、自分の考えを明らかにしようとしている。	世界遺産に指定された「原爆ドーム」と筆者の訴えの関係を押さえ、それらについて自分の考えをもちながら読んでいる。	「原爆ドーム」が世界遺産に指定されるまでの過程と筆者の訴えが書き分けられていること、また、それらの関係を理解している。

5. 指導計画 ( 14 時間 読む 6 時間 )

過程	時間	主な学習活動	具体的評価規準( B )・【評価方法】
一次	1	全文を読んで形式段落ごとに何が書いてあるかをとらえる。	関「平和のとりでを築く」の題名や内容について興味をもち、進んで読もうとしている。 読「平和のとりでを築く」の文章の概略をとらえている。 言重要語句や文末表現に着目しながら、「話題提示 - 説明 - まとめ」というおおよその文章構成をつかんでいる。 【発言・ノート・観察】
	1	文章の概略を確認する。(アニメーション) 重要語句や文末表現に着目しながら、おおよその文章構成をつかむ。	
二次	1	「原爆ドーム」の表現の違いに着目しながら、全体の内容を読み取る。	関「平和のとりでを築く」の内容について興味をもち、筆者の意見を進んで読み取ろうとしている。 【発言・ノート・観察】
	1	「原爆ドーム」保存を願う人々の広がりに着目しながら、全体の内容を読み取る。	読重要語句や「原爆ドーム」保存を願う人々の広がりなどに着目しながら、「原爆ドーム」が世界遺産に指定されるまでの過程を読み取っている。 【発言・ノート】
	1 本時	筆者が読者に訴えたいことについて読み取る。	読文章構成や全体の内容、重要語句から、筆者が読者に訴えたいことについて読み取っている。 【発言・ノート・観察】
三次	1	筆者の訴えに対する自分の考えをまとめ、互いに交流し合う。	関筆者の訴えに対する自分の考えを進んで明らかにし、交流しようとしている。 読筆者の訴えに対する自分なりの考えをもっている。 【発言・ノート・観察】

6. 本時の指導

(1) ねらい

- ・文章構成や全体の内容、重要語句から、筆者が読者に訴えたいことについて読み取ることができる。

(2) 展開

段階	学 習 活 動	時間	教師の支援と評価 主発問 ・ 支援
つ か む	1 前時までの学習を想起し、学習課題を確認する。	1 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に学習した原爆ドームの保存を願う人々の広がりをつり返りながら、文章全体を概観させる。 「原爆ドーム永久保存」に市民も役所も立ち上がりました。そのきっかけとなったのは、誰の日記でしたか。(筆答)</li> </ul>
	<p>筆者は、どのような考えをもち、何を伝えたいのだろう。</p>		
深          め          る	<p>2 文章全体の構成をつかみ、筆者の考えと伝えたいことが書いてある部分を見つける。</p> <p>3 「まとめ」の 段落を音読する。</p> <p>4 筆者の考えと伝えたいことを読み取る。 (1) 段落にある筆者の考えをとらえる。</p> <p>(2) 段落の「平和のとりでを築く」について考える。</p>	2 0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 段落に筆者の考えと伝えたいことが書かれていることに気づかせるため、文章全体の構成(話題提示 説明 まとめ)を使う。 筆者の考えと伝えたいことが書かれているのは、どの部分でしょう。</li> <li>・ 段落に筆者の考えが書かれていることを確認する。 (一斉読み)</li> <li>・ 原爆ドームが、原子爆弾のもたらす惨害を告げ、核兵器の不必要性を警告しているものであるという筆者の考えをとらえることができるようにする。</li> <li>・ 原爆ドームが、単なる建物ではなく、見る人の心に過去の出来事を忘れさせないこと、未来への注意を促すメッセージ性のある建物であるという筆者の考えが、「記念碑」に込められていることをとらえさせたい。(筆答)</li> <li>・ 板書に位置づけた前時までの想起を活用し、 段落の筆者の訴えは、一少女の日記や世界の人々の願いを受け継いできたものであることに気づくようにする。 原爆ドームが、見る人にこのようなことを訴えかけてくれるという筆者の考えは、誰の考えを受け継いできたものですか。</li> <li>・ 題名との関係や文末表現などの強調から、特に 段落の最後の文に着目することを確認する。</li> <li>・ 「とりでを築く」とは、平和を守るために心の中に築くものであることを理解できるように、図や板書を利用しながら説明する。</li> <li>・ 段落と 段落とを関係づけて考えさせるようにする。</li> </ul>

<p>深 め る</p>	<p>原爆ドームを見る人は、平和を守るとり でとして、心の中にどんな考えをもつ のですか。(筆答)</p>	<p>原爆ドームを見る人は、平和を守るとり でとして、心の中にどんな考えをもつ のですか。(筆答)</p>
<p>ま と め る</p>	<p>5 学習のまとめをする。 (1) 筆者の訴えを受け止める。  (2) 3人グループで交流し合う。  6 次時の学習内容を確認する。</p>	<p>1 3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>段落最後の文に続けて「原爆ドームは、 ～世界の遺産なのだ。だから、・・・。」と いう形を示す。 筆者が、読者にしてほしいことはどんな ことですか。「だから」の次に筆者にな ったつもりで読者へのメッセージを書き ましょう。</li> <li>筆者の立場に立ち、読者を意識しながら、 筆者の訴えの続きを自分なりに考えるこ とができるようにする。</li> <li>グループの交流の様子をいくつか発表さ せ、児童の考えや活動のよさを認める。</li> <li>次時は、筆者の訴えに対する自分の考え をまとめ、交流し合う学習であることを 知らせる。</li> </ul>

**具体の評価規準**

A 段落に書かれている筆者の考えに着目しながら、「平和のとりでを築く」とは、原爆ドームを見る人がどんな気持ちをもつことなのかについて、理由を伴ってまとめている。

B 段落に書かれている筆者の考えに着目しながら、「平和のとりでを築く」とは、原爆ドームを見る人がどんな気持ちをもつことなのかについてまとめている。

C への手立て まとめることができない児童には、板書などから 段落の筆者の考えをpushさせ、書けるようにする。

【ノート・発言】

(3) 板書計画

**Lesson Structure:**

- ① 平和のとりでを築く (大牟田 稔)
- ② 筆者は、どのような考えをもち、何を伝えたいのだろうか。
- ③ 少女: あの痛々しい産業奨励館だけが、いつまでも、おそろるべき原爆のことを後世にうたえかけてくれるだろう。
- ④ 原爆ドームの永久保存
- ⑤ 世界遺産
- ⑥ 世界の人々
- ⑦ 世界遺産
- ⑧ 痛ましい、あの原爆ドームは、原子爆弾が人間や都市にどんな被害をもたらすかをわたしたちに無言で告げている。未来の世界で核兵器を二度と使ってはいけない。いや、核兵器はむしろ不必要だと、世界の人々に警告する記念碑なのである。
- ⑨ 国連のユネスコ憲章には、「戦争は人の心の中に生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならぬ」と記されている。原爆ドームは、それを見る人の心に平和のとりでを築くための世界の遺産なのだ。

**Discussion Points:**

- ⑩ 少女: あの痛々しい産業奨励館だけが、いつまでも、おそろるべき原爆のことを後世にうたえかけてくれるだろう。
- ⑪ 原爆ドームの永久保存
- ⑫ 世界遺産
- ⑬ 世界の人々

**Flowchart:**

市役所 → 全市民 → 全国 → 全世界の人々